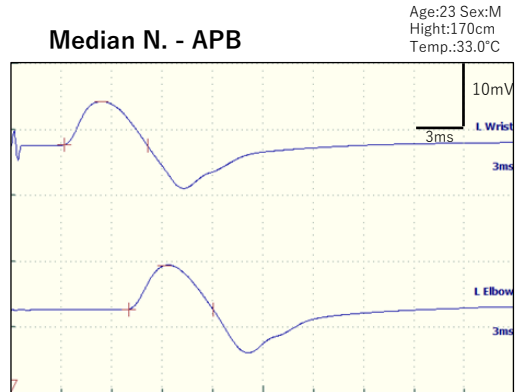
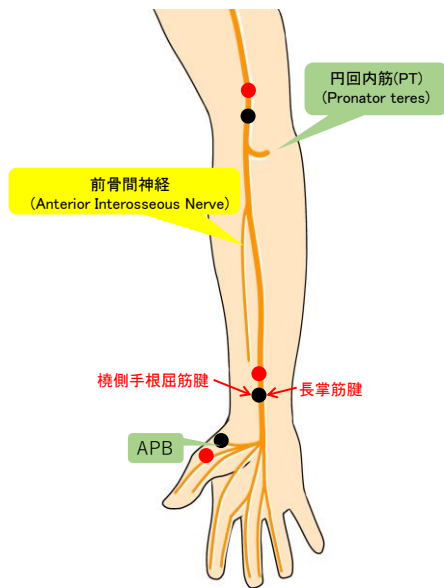


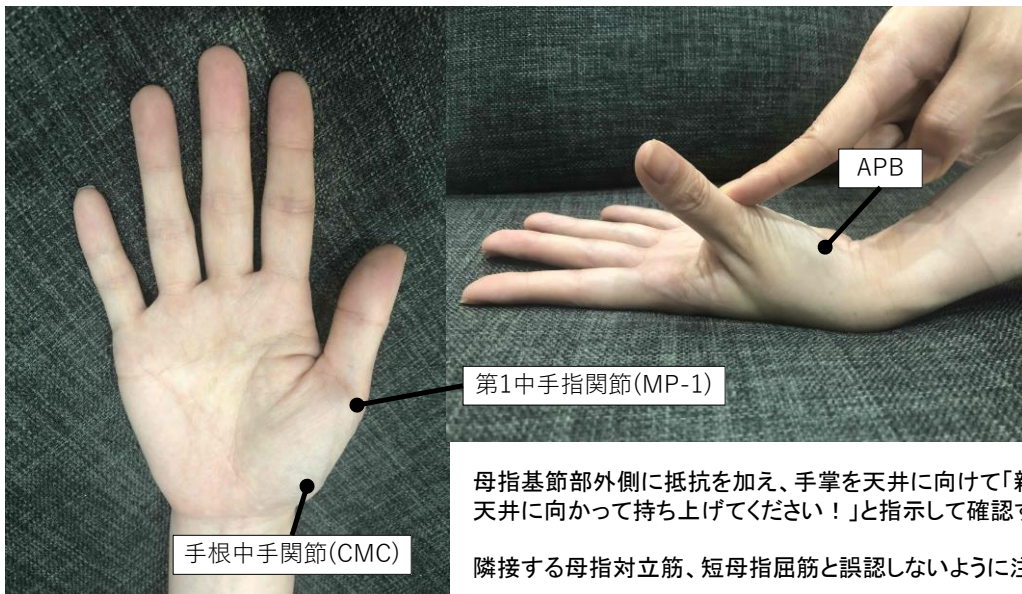
正中神経の走行と刺激・導出部位



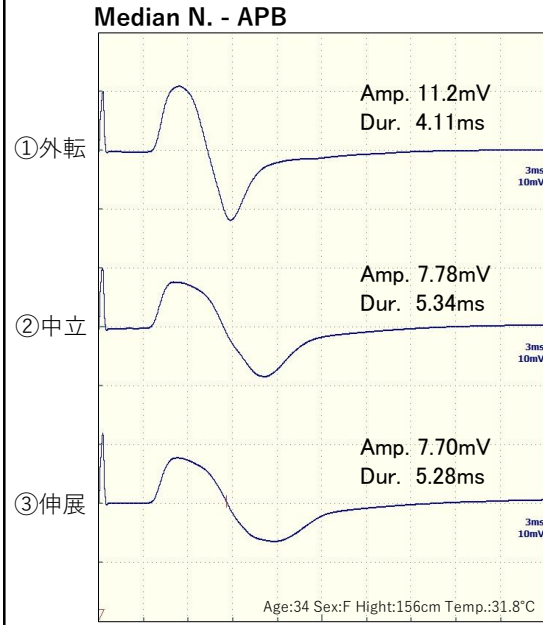
記録電極 (-)
短母指外転筋(APB)

基準電極 (+)
第1中手指関節(MP-1)橈側

APBの確認方法



導出筋の状態によるCMAPの変化



①外転

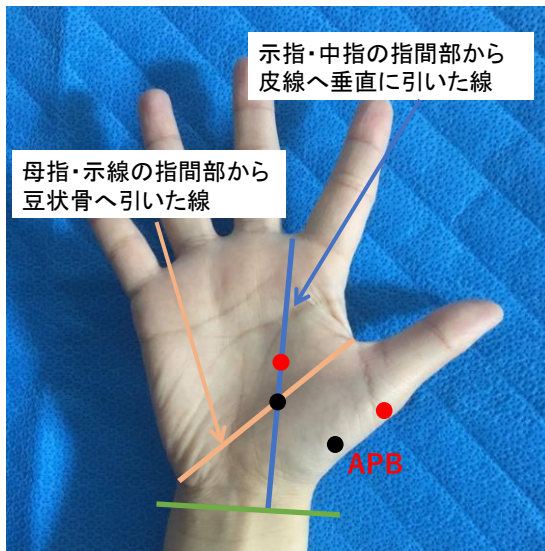
②中立

③伸展



検査をする際の姿勢は常に観察する

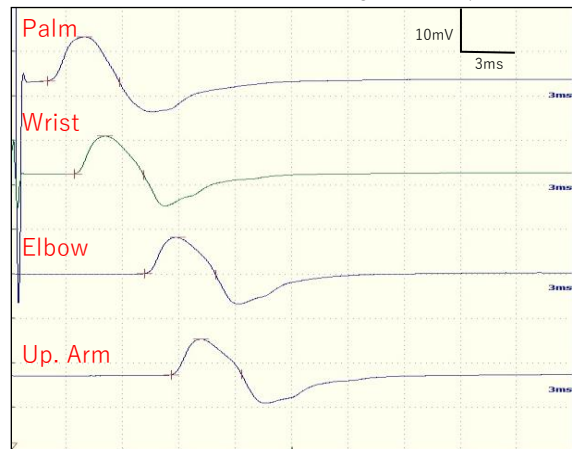
正中神経手掌刺激 (MCS)



2線の交点がほぼ正中神経の母指球筋への進入部
正中神経反回枝(Recurrent branch point)

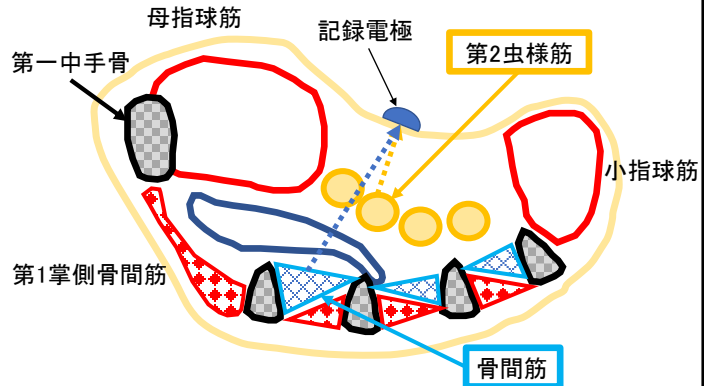
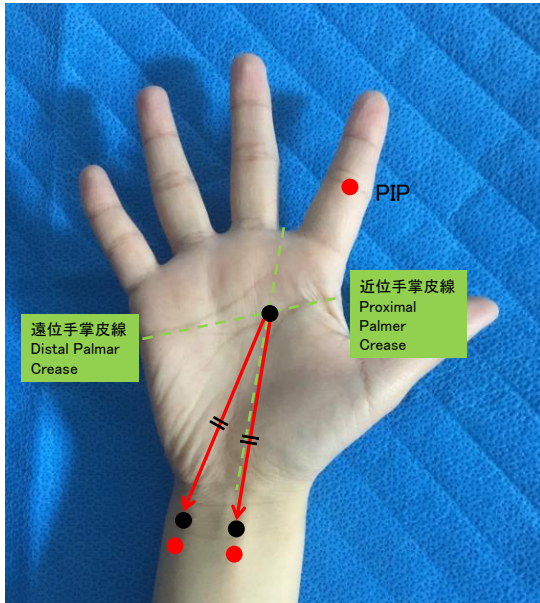
Median N. - APB

Age:23 Sex:M
Hight:170cm, Temp.:33.0°C



- Recurrent branch刺激によるCMAP terminal latencyを求める
- 手根部でのconduction blockを確認できる

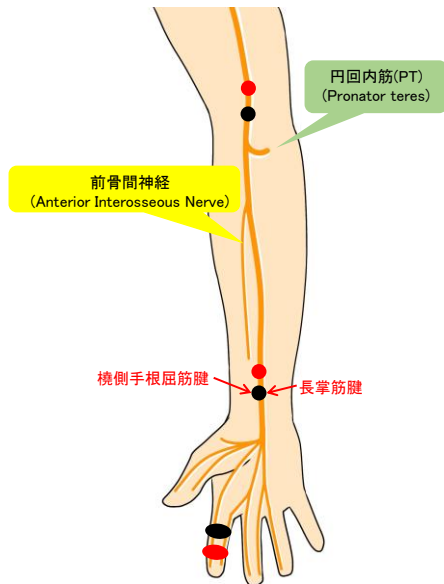
運動神経比較導出(2L-INT法)



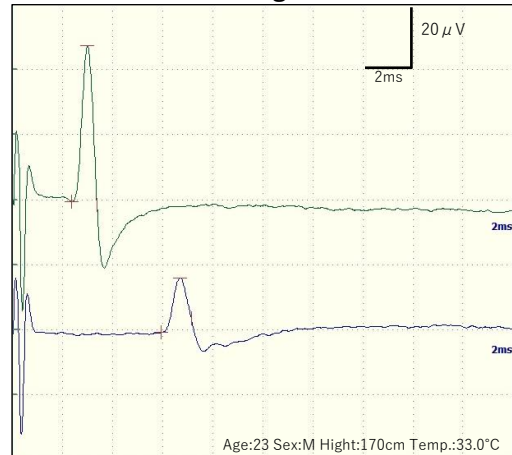
(大隈病院山内孝治先生の講義資料を参考に演者作成)

- 運動神経の比較導出法
- 障害の限局性の確認
- 生理的因子による影響を軽減
- 導出電極設置に伴うテクニカルエラーの軽減

正中神経の走行と刺激・導出部位

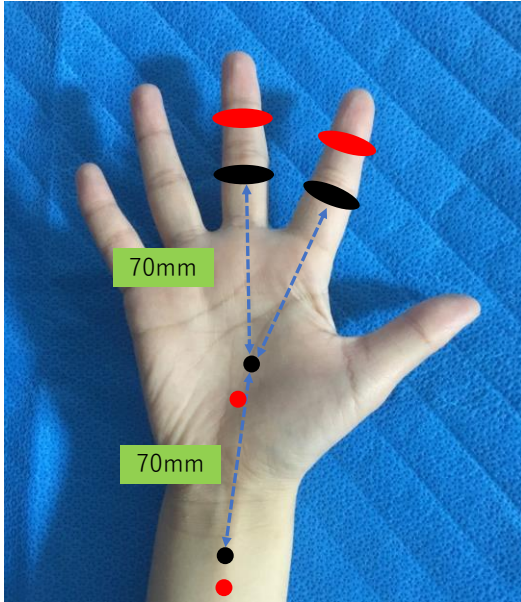


Median N. - Index finger



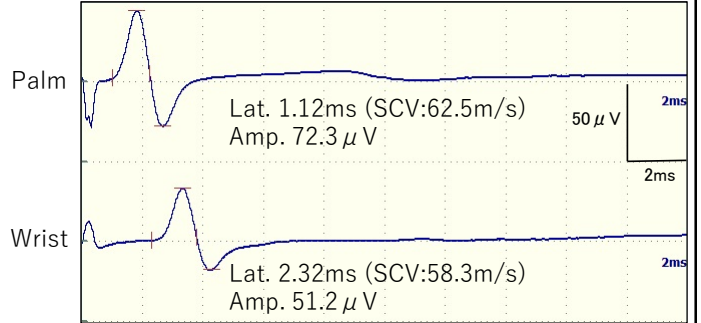
- 記録電極(-)
 近位指節間関節(PIP)
 基準電極(+)
 記録電極より3cm遠位部
 * 必要に応じて加算平均を用いる

正中神経手掌刺激 (SCS)



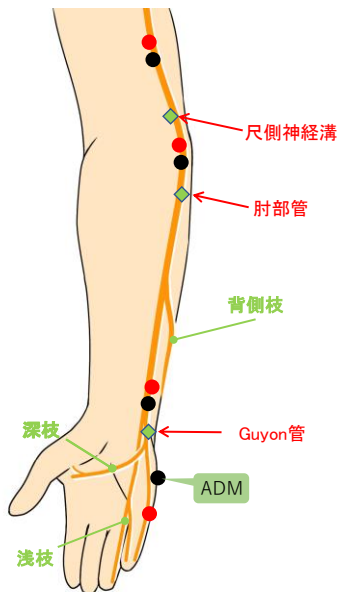
Median N. - Index finger

Age:23 Sex:M
Height:170cm, Temp.:33.0°C



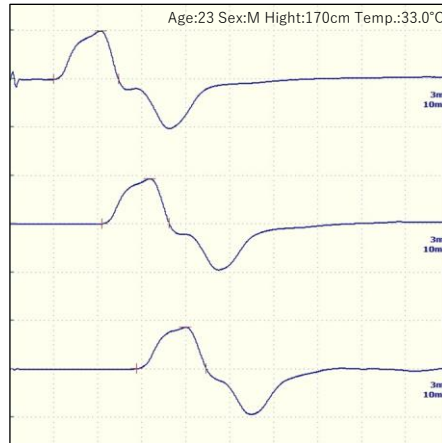
- 正中神経の走行に従って手掌および手首で刺激を行う
- 手首～手掌間のSCVが手掌～手指間のSCVよりも10m/s以上低下または手掌刺激と手首刺激の潜時差が1.6msを超えた場合に陽性と判断する

尺骨神経の走行と刺激・導出部位



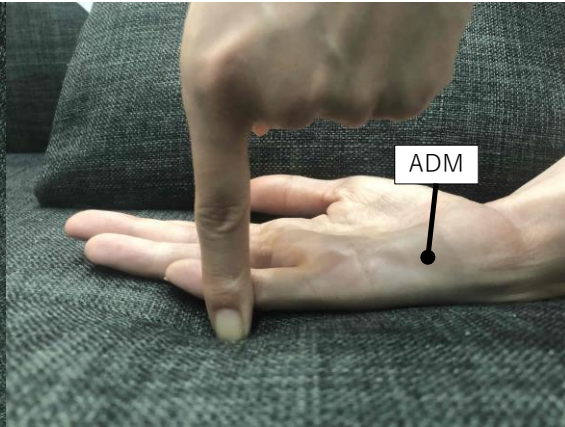
Ulnar N. - ADM

Age:23 Sex:M Height:170cm Temp.:33.0°C



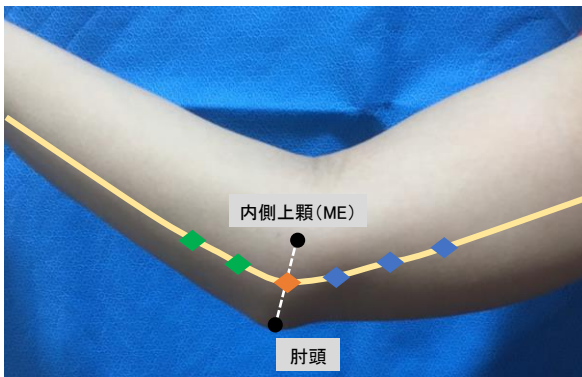
- 記録電極(-)
小指外転筋(Abductor digiti minimi : ADM)
基準電極(+)
第5中手指関節(MP-5)尺側

ADMの確認方法



小指の近位指節関節(PIP)から内転方向に抵抗を加え、「指をパーに開いてください!」と指示して確認する。

尺骨神経肘部インチング法



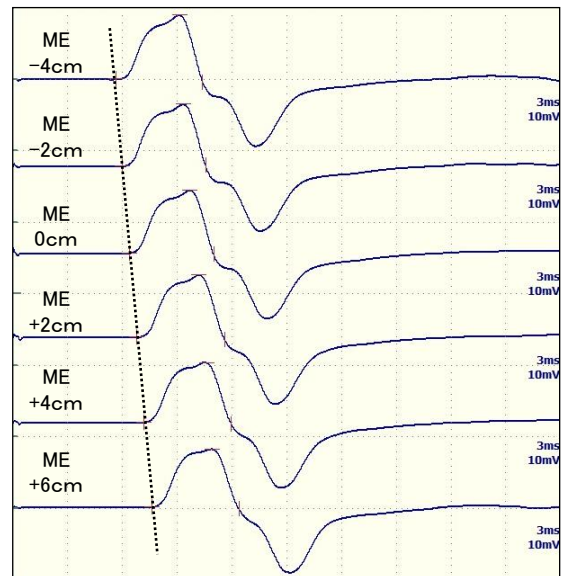
Interval: 2cm

肘部尺骨神経障害(UNE)における障害部位の推定に有用

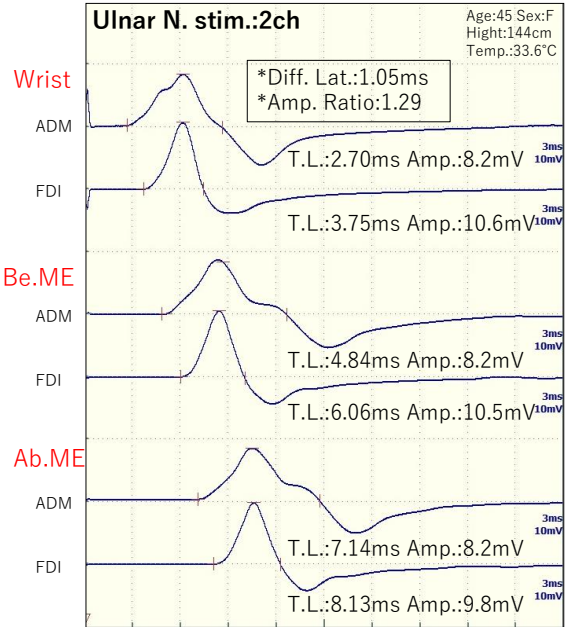
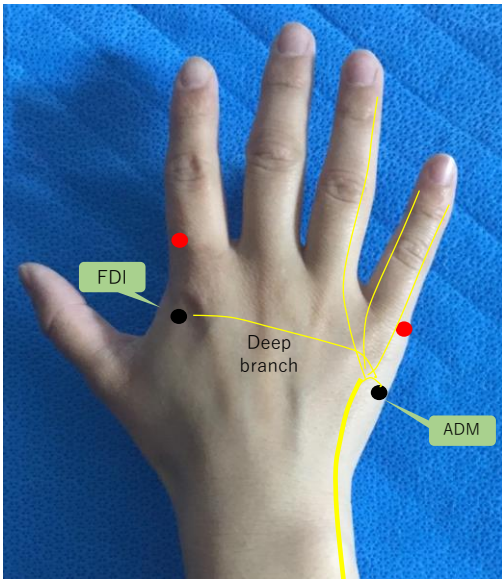
肘部管(cubital tunnel), 後内顆溝(post-retrocondylar groove), 尺側神経溝(post-condylar groove)のいずれかに起因した尺骨神経障害

Ulnar N. (Elbow) - ADM

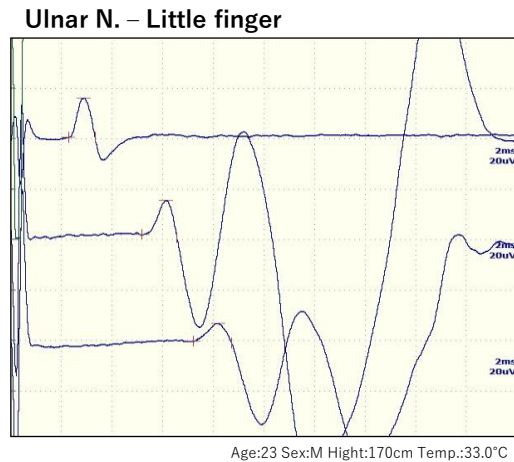
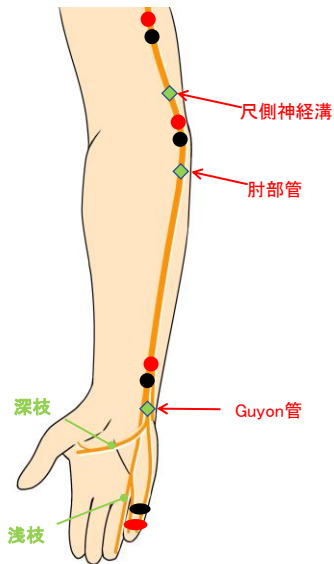
Age:23 Sex:M
Height:170cm, Temp.:33.3°C



FDI/ADM 同時導出(2ch) : 導出部位と健常例

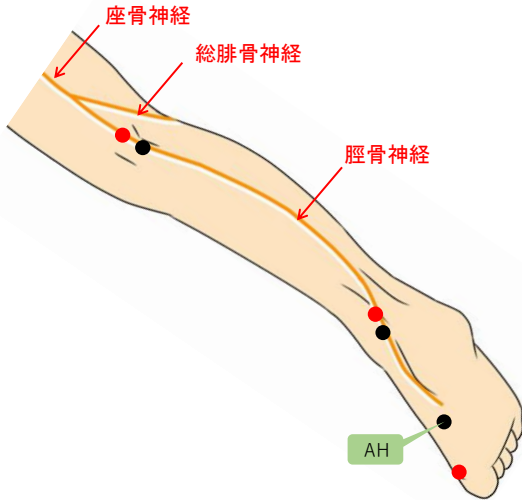


尺骨神経の走行と刺激・導出部位

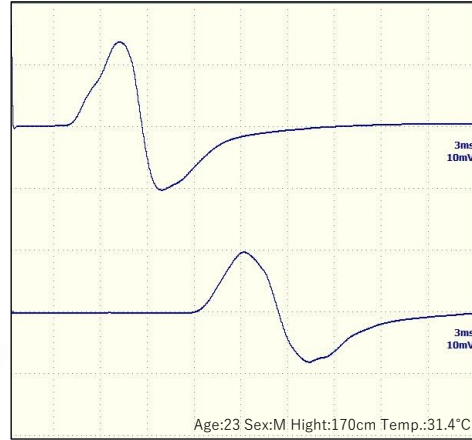


記録電極(-)
近位指節間関節(PIP)
基準電極(+)
記録電極の3cm遠位部
* 必要に応じて加算平均を用いる

脛骨神経の走行と刺激・導出部位

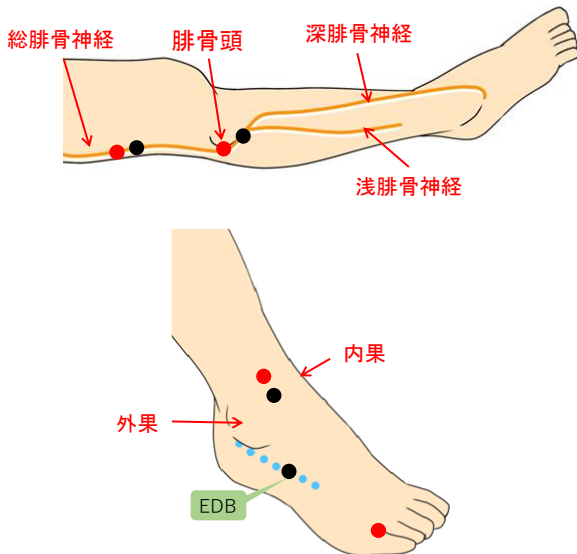


Tibial N. - AH

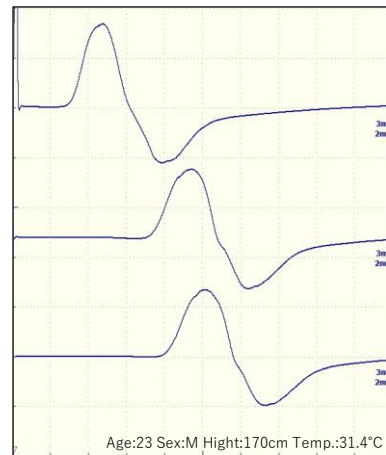


記録電極(-)
母趾外転筋(Abductor hallucis : AH)
基準電極(+)
母趾基節骨

腓骨神経の走行と刺激・導出部位

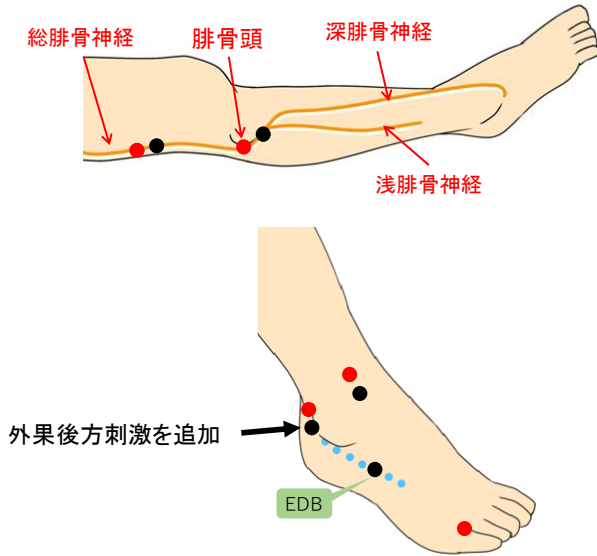


Fibular N. - EDB

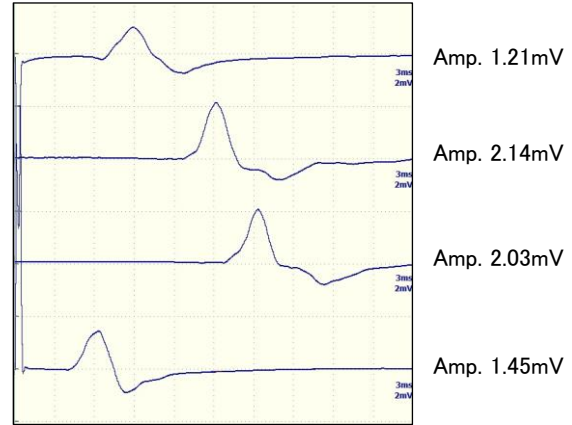


記録電極(-)
短趾伸筋(Extensor digitorum brevis : EDB)
基準電極(+)
第4指の付け根

副深腓骨神経



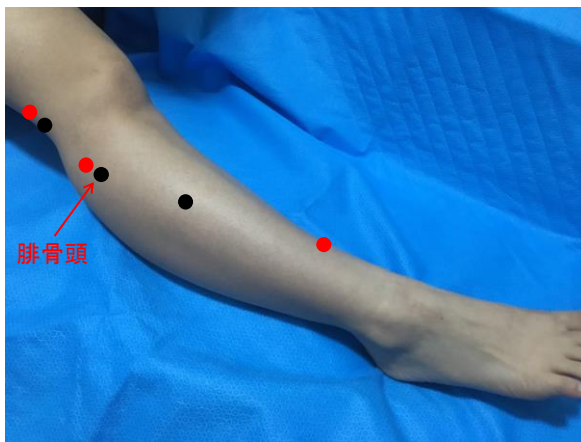
Fibular N. - EDB



Age:35 Sex:M Height:181cm Temp.:32.4°C

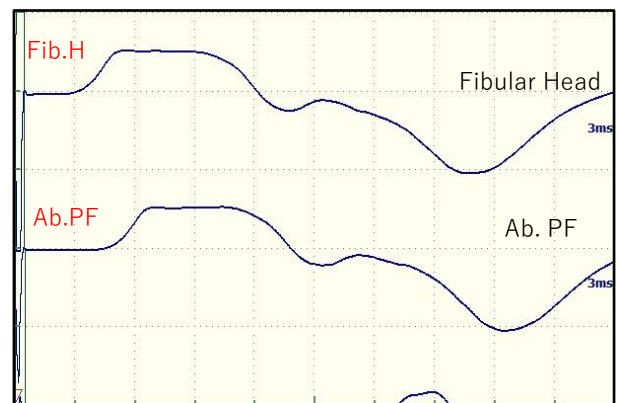
副深腓骨神経のEDBに至る運動枝の一部が浅腓骨神経を經由し、足関節外果後方を通りEDBの外側部を支配する。健康人でも20%程度みられる。

腓骨神経 TA導出



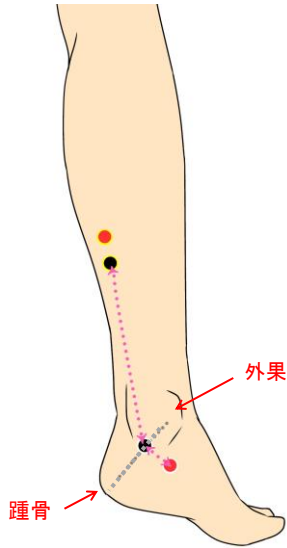
Fibular N.-TA

Age:76 Sex:M Height:176cm Temp.:32.1°C

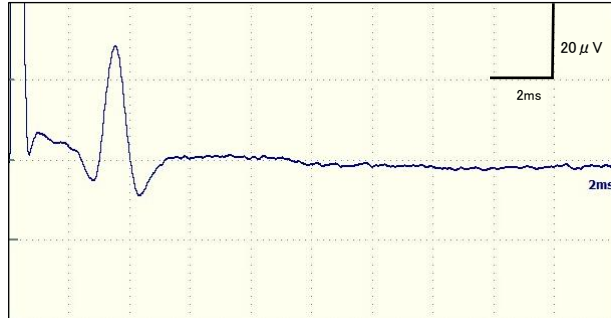


記録電極(-)
前脛骨筋(Tibialis anterior : TA)
基準電極(+)
内側楔状骨

腓腹神経の走行と刺激・導出部位



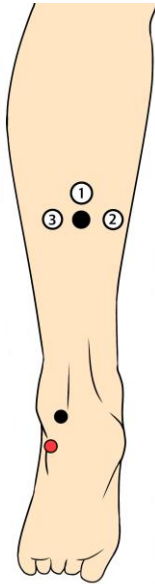
Sural N. – Lateral Dorsal Cutaneous N.



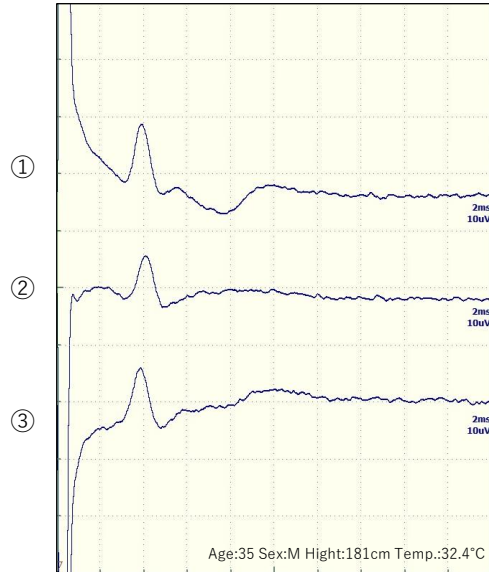
Age:35 Sex:M Hight:181cm Temp.:32.4°C

- 記録電極(-)
外果と踵骨を結んだ線上の1/3外果方向
- 基準電極(+)
記録電極の3cm遠位部
- * 必要に応じて加算平均を用いる

刺激電極のローテーションによる波形変化



Sural N. – Lateral Dorsal Cutaneous N.



Age:35 Sex:M Hight:181cm Temp.:32.4°C